

平成30年度栃木県小学校長会中央研究大会

---

# 「先生が忙しすぎる」をあきらめない 働き方改革はなぜ必要か、なにを行うか



2018年6月29日

妹尾 昌俊

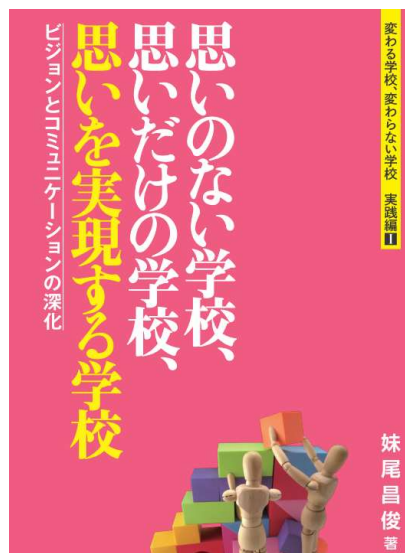
教育研究家、学校マネジメントコンサルタント  
文部科学省 学校業務改善アドバイザー  
中教審「学校における働き方改革特別部会」委員  
NPO法人まちと学校のみらい 理事

senoom879@gmail.com

<http://senoom.hateblo.jp>

# 自己紹介 妹尾 昌俊

- 徳島県出身(いなかの公立小中高で育つ)、神奈川県逗子市在住。  
趣味は歴史もの(戦国うんちく、旅、ゲーム)、海でSUP
- 4人の子持ち、育児・教育には日々修行中の身です。
- 学校づくり、学校マネジメントはライフワークのひとつ。
  - 前職の野村総合研究所では、学校評価や組織マネジメント、地域とともにある学校づくり(コミュニティスクール等)について全国調査。2016年7月から独立、“元気な学校づくり、地域づくりを伴走し広げる”をミッションに、教職員向け研修やコンサル、学校改善、業務改善支援などを行っています。
- 学校業務改善アドバイザー(文科省、埼玉県、横浜市ほか)、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員。
- 学校事務職員等を応援する「未来への風プロジェクト」(詳しくはウェブとFacebook)を運営中！
- たまにブログ更新。オンラインゼミ(勉強会サロン)も開催中。よかったらFacebook、Twitter(妹尾昌俊で検索)も気軽にメッセージお願いします。





# 教職員定数(国の標準)の決め方は今のままでいいのか？

- 基本的には学級数に応じて国の標準が決まる。  
⇒ 1人の教員がどのくらい授業をもつとか、どのくらい労働時間がかかるか等は、一切考慮されない。
- 小学校では学級担任制を前提としているので(教科担任制ではないので)、中高と比べて、著しく教員数が少ない算定式。  
⇒ 道徳、英語も増え、9教科、10教科も教えるなんて無理ゲー？

○校長定数 学校数×1人

○教頭及び教諭等定数

①学級数に応じて、必要となる学級担任、教科担任の教員数を考慮して、学校規模ごとに学級数に乗ずる率を設定。例えば、3学級の中学校には9人の教員(校長を含む。)が配置できるよう計数を設定している。

(乗ずる率の例)

小学校

1学級及び2学級の  
学校の学級総数 × 1.000  
3学級及び4学級の  
学校の学級総数 × 1.250  
5学級の学校の学級総数 × 1.200  
6学級の学校の学級総数 × 1.292

⋮

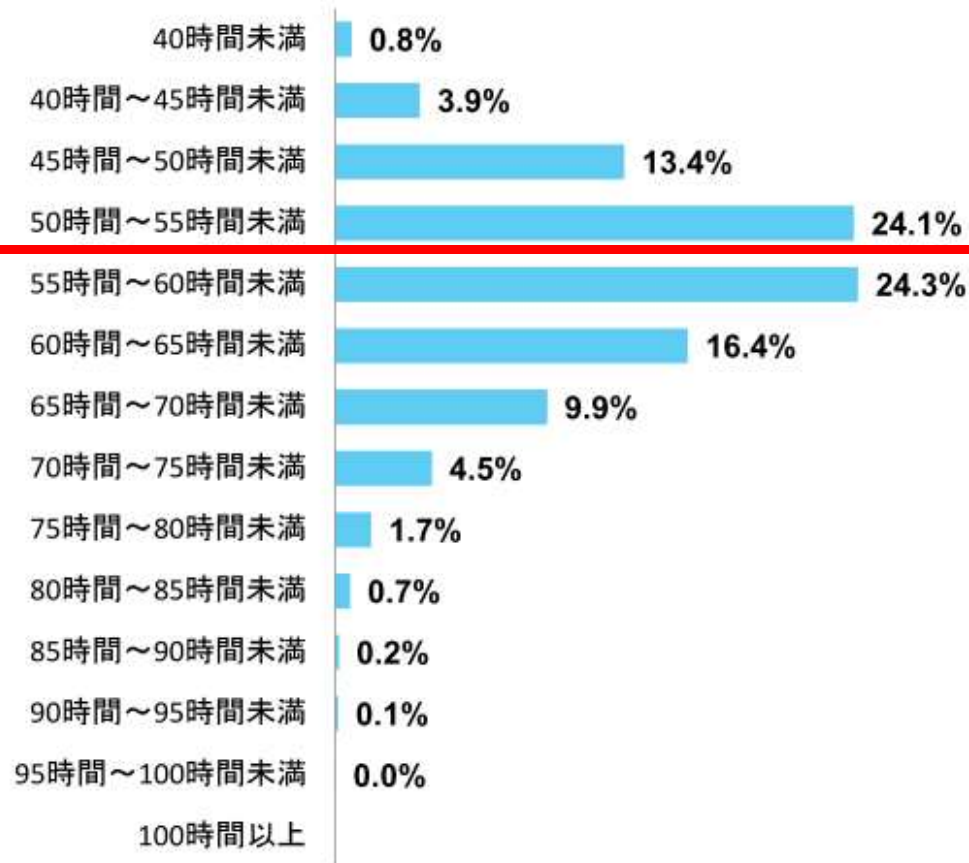
中学校

1学級の学校の学級総数 × 4.000  
2学級の学校の学級総数 × 3.000  
3学級の学校の学級総数 × 2.667  
4学級の学校の学級総数 × 2.000  
5学級の学校の学級総数 × 1.660  
6学級の学校の学級総数 × 1.750

⋮

# 日本の先生たちは働き過ぎている。

1週間の学内総勤務時間(小学校・教諭)



《小学校》  
自宅残業(平均で週約5時間)  
を含むと  
約6割(57.8%)が  
過労死ライン

※「教諭」について、平成28年度調査では、主幹教諭・指導教諭を含む。

※1週間当たりの正規の勤務時間は38時間45分。

※上記グラフは、勤務時間から本調査の回答時間(小学校64分、中学校66分)を

文科省「教員勤務実態調査」(2016年実施)

# 産業別1週間の労働時間の分布

他業界と比べても、**学校の長時間過密労働は異常**

	週60時間(≒過労死ライン) 以上働いている割合	週80時間(≒月残業160時間) 以上働いている割合
建設業	13.1%	1.5%
製造業	8.3%	0.7%
情報通信業	10.2%	1.2%
飲食店	28.4%	5.2%
医療業	7.5%	1.2%
国家公務	8.7%	2.2%
小学校教諭	<b>57.8%</b>	2.7%
中学校教諭	<b>74.1%</b>	<b>15.8%</b>

小中学校以外は「労働力調査(2016年度)」、小中学校は「教員勤務実態調査(2016年実施)」をもとに作成  
※週35時間以上勤務の人のみを集計対象

(ある教員の声) 忙しくても、子どもたちのために前向きなら、いいでしょう？

(ある校長の声) 毎日遅くまで熱心にやったださる先生に「早く帰れ」ってなかなか言えませんよ。



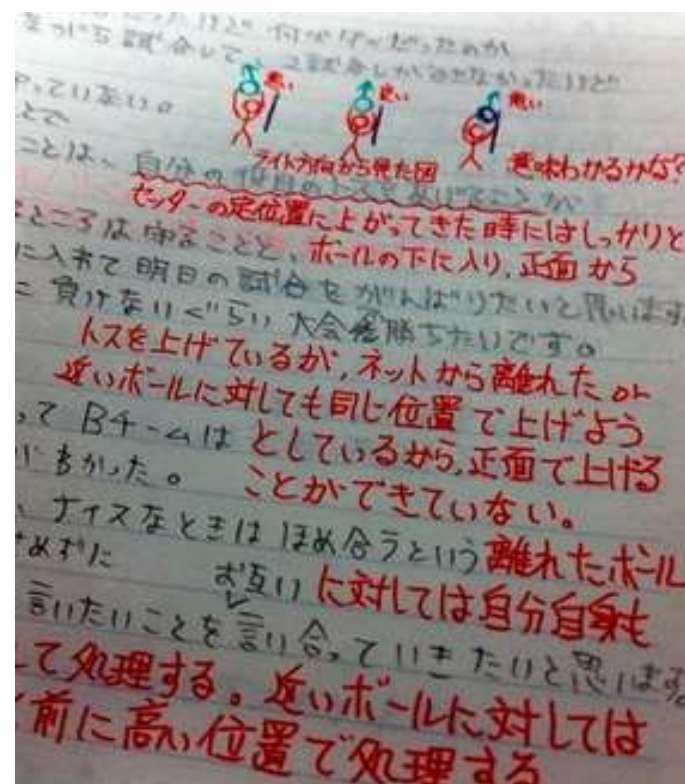
★★教職員の長時間労働はどんな問題、マイナス影響があると思いますか？ ★★

## ( )教師の過労死

2011年6月6日(月)午前1時頃、堺市立中学校に勤務する26歳の教師、前田大仁さんが1人暮らしの自宅アパートで突然亡くなりました。虚血性心疾患でした。前田先生は「熱血先生」と慕われ、市教育委員会の教員募集ポスターのモデルにもなったこともありました。

前田先生は2年目で、2年1組のクラス担任ならびに経験のないバレー部の顧問を務めていました。理科の教科担当としてプリント等を作成するなど熱心に授業準備を行うとともに、学級通信をほぼ毎週発行するなど、教育に情熱をもってあたっていました。部活動では、部員が記入する個人別のクラブノートに励ましや助言をびっしりコメントしていました。

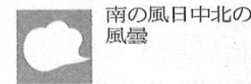
発症前6か月間の時間外勤務は月60～70時間前後と過労死認定基準に満たない時間しか認められませんでした。が、「相当程度の自宅作業を行っていたことが推認される」として、地方公務員災害補償基金は2014年に公務上の過労死として認定しました。







2018年(平成30年) 5月30日 水曜日



南の風、日中北の風量

発行所 北日本新聞社 富山市安住町2番14号 千930-0094 電話076-445-3300 ©北日本新聞社 2018

地域の話題・情報は 076(445)3458へ

きょうの天気

6時 9 12 15 18 21

魚津	24	16	富山	25	17	30%	40%	30%
高岡	24	17	砺波	23	17	30%	40%	20%

31 (土) 1 (日) 2 (月) 3 (火) 4 (水) 5 (木)

# 過労死認定の県内教諭

# 時間外勤務 月110時間超 発病前2カ月連続

数年前に病死した県内の公立学校教諭について地方公務員災害補償基金(支部・支部長・石井隆一知事)が長時間労働による「過労死」と認定した問題で、教諭の発病前1カ月間(30日間)の時間外勤務が118時間25分だったことが29日、関係者への取材で分かった。発病する約2カ月前からの4週間で127時間49分の時間外勤務をしており、2カ月連続で月80時間とされる「過労死ライン」を大きく上回っていた。

県教職員組合が2017年に行った公立の小、中、特別支援学校の教職員勤務実態調査によると、17年度の1カ月当たり平均時間外勤務は、小学校で79時間43分、中学校で106時間37分。1カ月80時間以上の時間外勤務をしていた割合は、小学校で46%、中学校で72%に上った。

同組合の能澤英樹執行委員長は「休憩時間内の勤務や、持ち帰り仕事などの時間を含めると、さらに厳しい実態が明らかになると思う。タイムカードの導入など、客観的に数値を示せるようにすべき」と指摘した。この問題について、佐藤靖夫富山労働局長は29日、管轄が違つたと断った上

義務教育学校教職員の公務災害事件数

	脳・心臓疾患		精神疾患など	
	受理	認定	受理	認定
2013年度	3	2	6	3
14	8	6	8	5
15	7	13	12	0
16	15	5	21	10
計	33	26	47	18

## 全国の公務 4年間で44件

全国の公立小、中学校と特別支援学校の小・中・学部で、過労死などで公務災害認定を受けた教職員が、2013〜16年度の4年間で44件に上ることが、地方公務員災害補償基金への取材で分かった。

同基金は、地方公務員の労災に当たる「公務災害」の申請を受け、審査する機関で、全都道府県に支部がある。受理件数は年度内に各支部が受理した件数。認定件数は、年度内に公務災害と認められたもので、その年度以前に受理したものも含む。

受理件数は増加傾向にあり、脳・心臓疾患による件数は13年度の3件から16年度は5倍の15件に増加。精神疾患などによる件数も、13年度の6件から16年度は21件と3倍

以上になった。

脳・心臓疾患で受理した件数のうち、死亡したケースは15年度が3件、16年度が6件。精神疾患などの受理件数のうち、死亡は15年度1件、16年度3件だった。

### 知事「痛恨の極み」

石井知事は29日、「指導に熱心に取り組まれていた方だ

### 学校の労働環境 情報や意見を

学校の労働環境に関する情報や意見をお寄せください。はがき・手紙の宛先は〒930-010094 富山市安住町2の14 北日本新聞社編集局 社会部へ。住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。ファックスは076(431)2110。メールはkarpshen@kitanippou.co.jp

と聞いており、痛恨の極み」と語った。教諭が勤務していた学校も含め、部活動指導員やスクールサポートスタッフの配置を進めていると説明し、「長時間労働をなくし、二度と同じようなことが起きないようにしたい」と述べた。

### アメフト 関東学連

# 日大前監督

## 前コーチも 反則容

日本アメリカンフットボール部の守備選手による悪質な反則問題で、関東学生連盟は29日、臨時理事会を開き、内田正人前監督と井上爽前コーチを、罰則規定で最も重く永久追放に相当する「除名」とする処分を決めた。守備を

統括する立場だった森塚ヘッドコーチは除名に次いで重い「資格剥奪」、危険なタックルをした宮川泰介選手とチームは、条件付きで2018年度シーズン終了まで公式試合の出場資格停止処分とした。

【関連記事6、28面】

<なんのために早く帰るんだ！？>

人は3つのことから学ぶ(出口治明氏)。



# 愛知教育大学等「教員の仕事と意識に関する調査」(2015年実施)

Q あなたは、次のような悩みや不満をどれくらい感じていますか。

図4-2 教員の仕事の悩み・不満

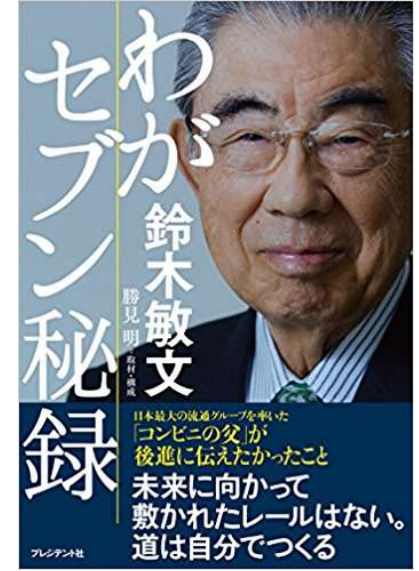


一番の悩みは  
授業準備不足。  
生活のゆとりも  
ない。

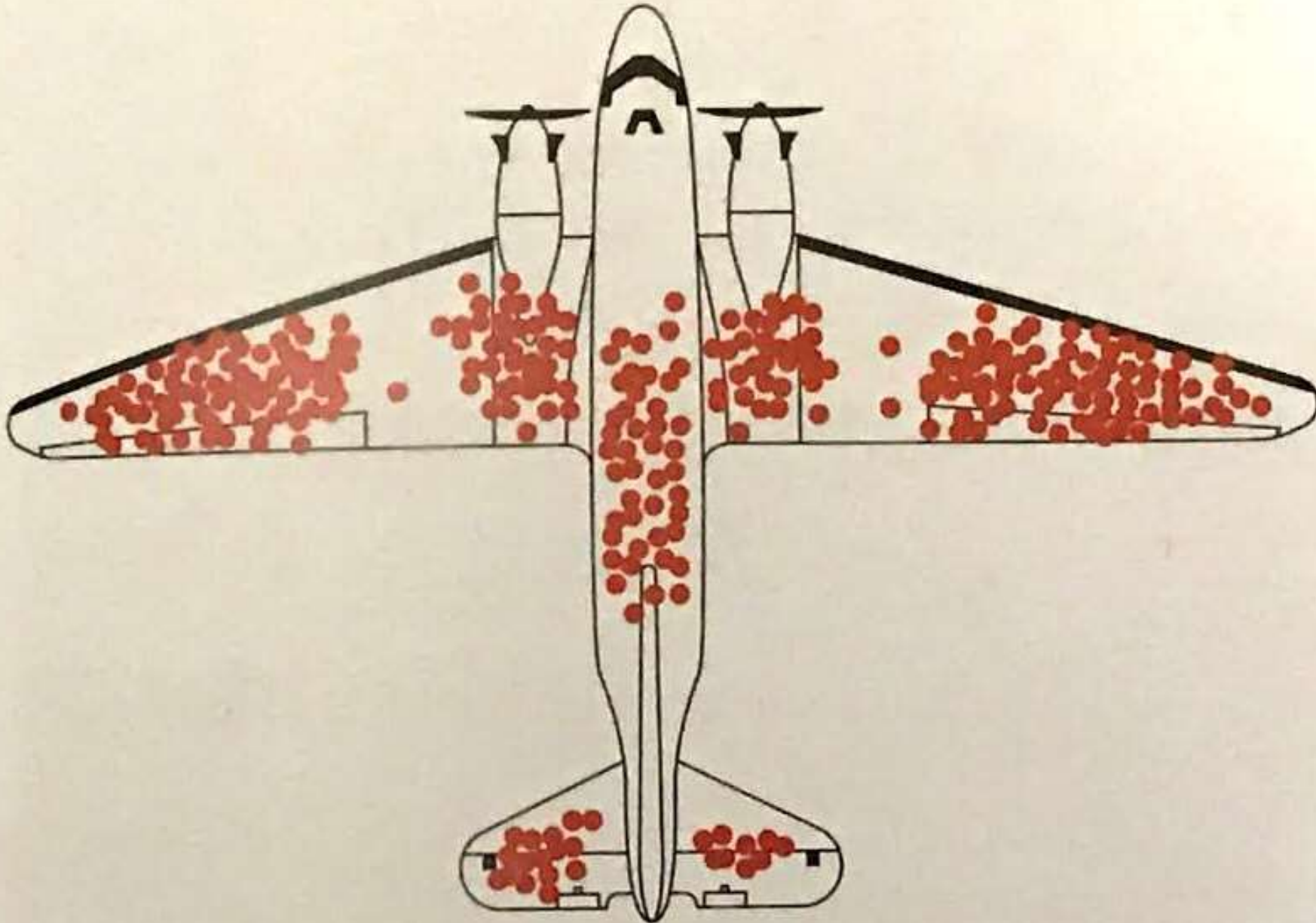
こんな状態で  
新学習指導要領のめざす  
質の高い教育は  
できるのか？

小学校1,482人、中学校1,753人、  
高等学校2,138人の教員が回答。

# かなりおススメ本



## 統計学者ワールドの指摘



## 長時間労働の影響、少なくとも6点

1. 心身ともに**疲れる、病気になる。倒れる。**
  - ✓ バーンアウトやうつ、過労死、自殺に発展するケースも。
2. 個人レベルでは、**授業準備や( )の時間が減る。**  
組織レベルでも**( )が減る。**
  - ✓ 教職員個人にとっては、読書や趣味、好きなことを追求する時間などが減ること  
で、広い意味での自己研鑽が犠牲となってしまう。
  - ✓ 学校という組織、チーム単位で捉えても、個業が増え、組織的な改善や学習が進  
みにくなる。その結果、さらに多忙化が進む悪循環にもなりかねない。
3. 仕事の能率も下がり、**ミス**が起きやすくなる。子どもに接するときも丁寧にできない、  
ちょっとしたサインを**見逃してしまう**。⇒ ミスや問題の火消しのためさらに多忙に。
4. 長時間労働を厭わない、**熱血教師だけが働ける職場**となる。
  - ✓ 団塊世代が後期高齢者 ⇒ 介護、育児、病気を抱えながら仕事をするが普通に。
5. 「ともかく長く働けばよい」と**生産性やワークライフバランスを軽視することが子どもへ  
影響**する。(=隠れたカリキュラムのひとつ)
6. 教員の仕事が**不人気**に。採用倍率低下ともあいまって質低下。

## <働き方改革の意味は？>

あなたにとって、学校の“働き方改革”、  
あるいは長時間労働の削減とは何ですか？  
なんのためですか？



◎なぜ、どうして、学校（教職員）はこうも忙しいのでしょうか？



## あふれる“〇〇教育”、“××指導”

藤原和博(2013)『負ける力』(ポプラ社、p.211)

いまでも、一人の教員が教科を上手に教え、  
生活指導とすべての児童生徒に関わる事務手続きをし、  
防犯や防災に気をつけながら、  
一人一人のアレルギーをチェックし、  
AED(心肺蘇生用の医療機器)を使えるようにし、  
環境教育や情報教育に慣れ、  
福祉ボランティア教育と国際理解教育を教え、  
さらに食育にも消費者教育にも気を配り、  
尖閣諸島や北方領土への意識を盛りたてて日本人として誇りを持たせ、  
おまけにスポーツ指導や部活を担当しながら、  
要望が強くなりがちな保護者の声に応える  
……………なんて、一人の人間のやることとして明らかに無理があります。

## こんな会話、職員室で、あるいは保護者のあいで、ありませんか？

- えっ！？〇〇を今年からやめるんですか？  
そんなー、楽しみにしている児童・生徒がかawaiiそうですよ。
- △△の縮小には反対です。やらないより、やったほうがゼツタイよいと思います。

教職員の仕事は3種類ある。

# 運動会など学校行事 感動の裏にあるもの

---

# あなたの身近なところに行えることはある(半径3メートルからの学校改善)

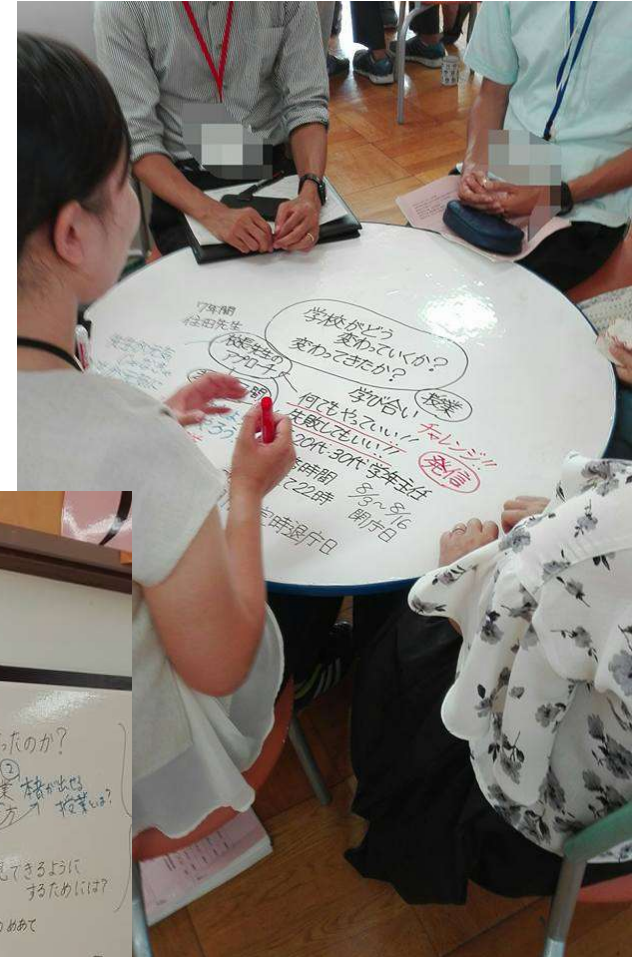
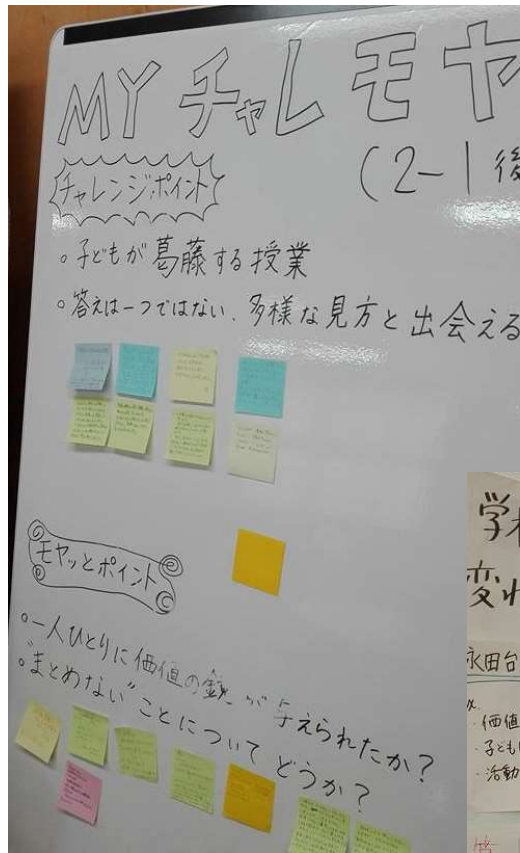
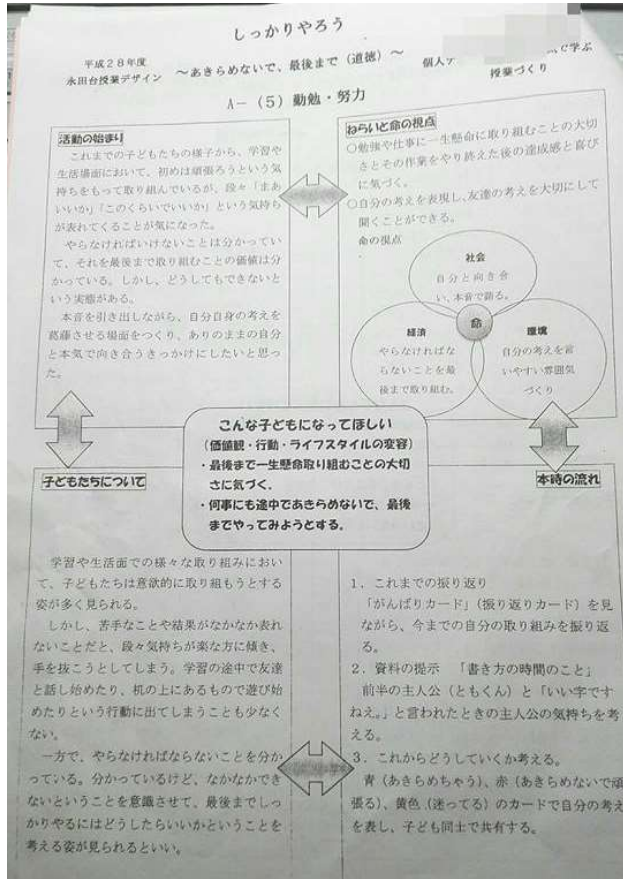
## 前田康裕『まんがで知る教師の学び』

何をしたかを書くのではなく、「どんなことを学んだか」を書く+教師はチェックボックスだけ

自己評価カード 6年 組 号 氏名 ( )

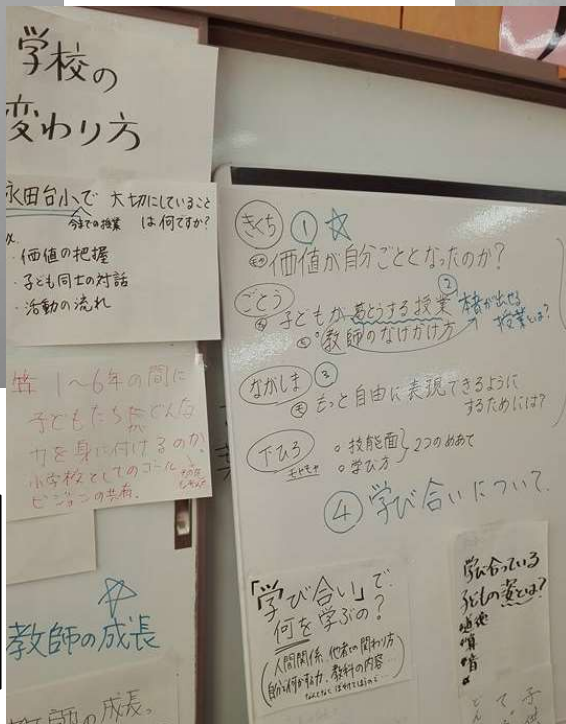
今日のめあて		写真をもとにスピーチするための原こうを書く。	
項目	ABC	できるようになったこと・次がんばりたいこと	先生から
9月	やる気	A	<input type="checkbox"/> もっと書こう <input type="checkbox"/> 理由を書いて <input type="checkbox"/> 何を学んだの <input type="checkbox"/> 次の課題は? <input type="checkbox"/> がんばって! <input checked="" type="checkbox"/> 伸びてます! <input checked="" type="checkbox"/> よい自己評価 <input type="checkbox"/> すばらしい!
29日	話す・聞く		
(金)	考える	B	
今日のめあて		写真を元にしてプレゼンテーションを行い、どんな味か試みる	
項目	ABC	できるようになったこと・次がんばりたいこと	先生から
10月	やる気	A	<input type="checkbox"/> もっと書こう <input type="checkbox"/> 理由を書いて <input type="checkbox"/> 何を学んだの <input type="checkbox"/> 次の課題は? <input type="checkbox"/> がんばって! <input type="checkbox"/> 伸びてます! <input checked="" type="checkbox"/> よい自己評価 <input type="checkbox"/> すばらしい!
2日	話す・聞く	A	
(月)	考える	B	
今日のめあて		学校の回りをユニバーサルデザインの視点で見回る	
項目	ABC	できるようになったこと・次がんばりたいこと	先生から
10月	やる気	A	<input type="checkbox"/> もっと書こう <input type="checkbox"/> 理由を書いて <input type="checkbox"/> 何を学んだの <input type="checkbox"/> 次の課題は? <input type="checkbox"/> がんばって! <input type="checkbox"/> 伸びてます! <input checked="" type="checkbox"/> よい自己評価 <input type="checkbox"/> すばらしい!
3日	話す・聞く		
(火)	考える	A	
今日のめあて		提案のストーリーを考えよう	
項目	ABC	できるようになったこと・次がんばりたいこと	先生から
10月	やる気	A	<input type="checkbox"/> もっと書こう <input type="checkbox"/> 理由を書いて <input type="checkbox"/> 何を学んだの <input type="checkbox"/> 次の課題は? <input type="checkbox"/> がんばって! <input checked="" type="checkbox"/> 伸びてます! <input checked="" type="checkbox"/> よい自己評価 <input type="checkbox"/> すばらしい!
4日	話す・聞く	A	
(水)	考える	B	

# なんのためにやっているのか？指導案をつくるための授業研究会か？ そもそも論を大切にしながら改善を続ける。 事例：横浜市立永田台小学校



指導案は1枚紙で

チャレンジしたいこと、  
もやっとしていた  
ことを可視化



問題意識のある  
テーマで教職員  
+外部人材でWS

あなたの身近なところにはできることはある

半径3メートルからの学校改善 横浜市立富士見台小学校



## 半径3メートルからの学校改善 横浜市立富士見台小学校





# ◎教員の手から離せるものは離そう。

## 中教審 学校における働き方改革 中間まとめ

基本的には学校以外が担うべき業務	学校の業務だが、必ずしも教師が担う必要のない業務	教師の業務だが、負担軽減が可能な業務
<p>①登下校に関する対応</p> <p>②放課後から夜間などにおける見回り、児童生徒が補導された時の対応</p> <p>③学校徴収金の徴収・管理</p> <p>④地域ボランティアとの連絡調整</p> <p>※ その業務の内容に応じて、地方公共団体や教育委員会、保護者、地域学校協働活動推進員や地域ボランティア等が担うべき。</p>	<p>⑤調査・統計等への回答等 (事務職員等)</p> <p>⑥児童生徒の休み時間における対応 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑦校内清掃 (輪番、地域ボランティア等)</p> <p>⑧部活動(部活動指導員等)</p> <p>部活動の設置・運営は法令上の義務ではないが、ほとんどの中学・高校で設置。多くの教師が顧問を担わざるを得ない実態。</p>	<p>⑨給食時の対応 (学級担任と栄養教諭等との連携等)</p> <p>⑩授業準備 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑪学習評価や成績処理 (補助的業務へのサポートスタッフの参画等)</p> <p>⑫学校行事の準備・運営 (事務職員等との連携、一部外部委託等)</p> <p>⑬進路指導 (事務職員や外部人材との連携・協力等)</p> <p>⑭支援が必要な児童生徒・家庭への対応 (専門スタッフとの連携・協力等)</p>

# 学校の課題・ビジョンを明確化(具体化)できれば、 多忙化への取組で優先度の高いものも見えてくる。

優先度高く実施

	学校の課題・ビジョンと 関係性高い	中	低い
多忙化への 影響 大			<ul style="list-style-type: none"> <li>● 部活動の時間が長い</li> <li>● 成績処理の方法が煩雑で時間をとる</li> </ul>
中	<ul style="list-style-type: none"> <li>● キャリア教育の協力者との調整が手間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会議が非効率で長い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 12月の校外学習は準備が大変なわりには効果薄い</li> </ul>
小		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学年便りの作成や学校HPの更新</li> </ul>	

# ◎多忙の内訳を見よ：何に時間を使っているのか？

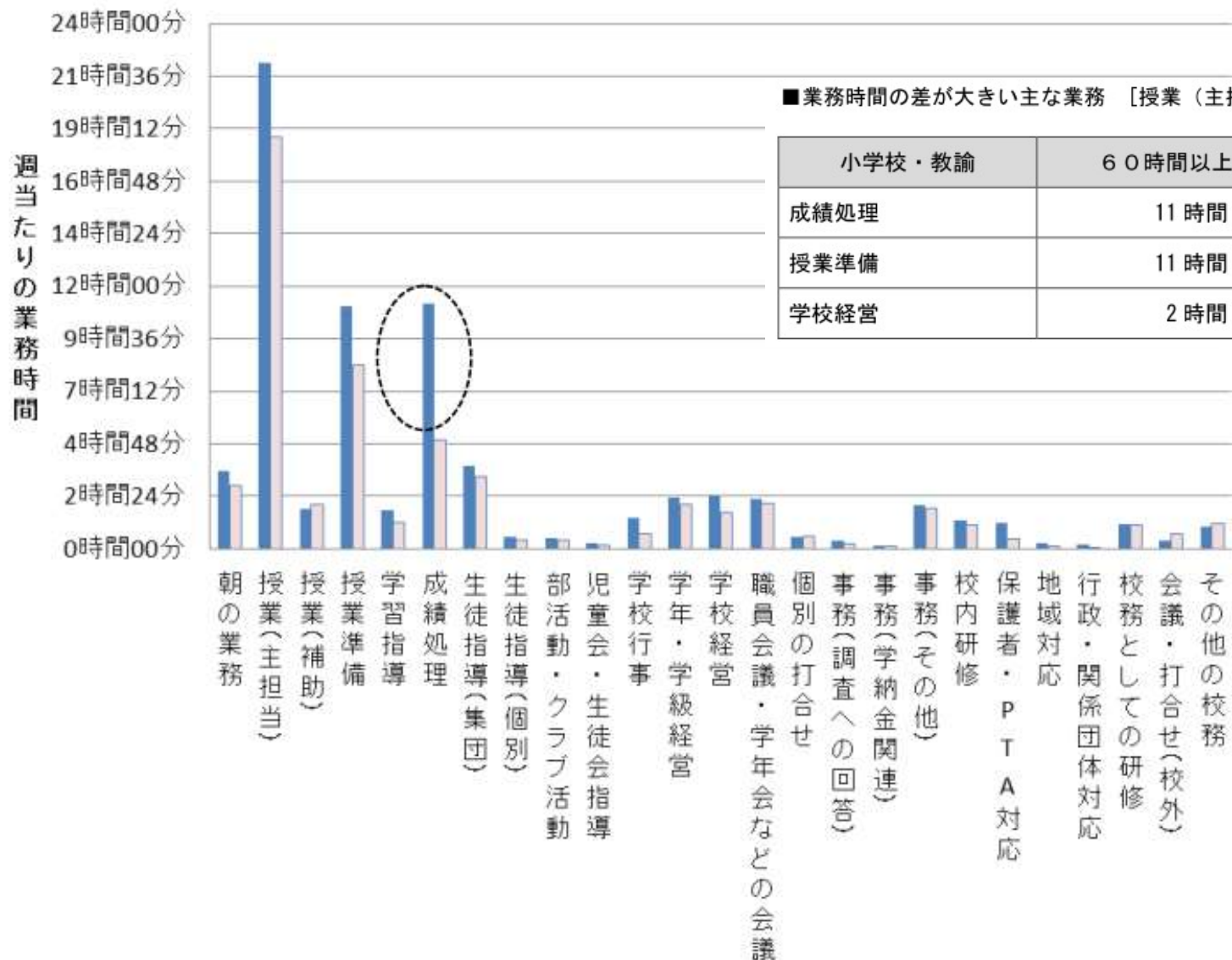
小学校教諭の平日1日

	週60時間以上		週60時間未満		時間差 (分)
	従事時間 (分)	比重	従事時間 (分)	比重	
授業	268	36.5%	264	42.3%	4
授業準備	99	13.5%	66	10.6%	33
学習指導（補習・個別指導等）	16	2.2%	14	2.2%	2
朝の業務	37	5.0%	35	5.6%	2
成績処理、試験の作成・採点、提出物確認等	41	5.6%	29	4.6%	12
学校行事、生徒会・児童会	38	5.2%	24	3.8%	14
給食、掃除、登下校、休み時間等の指導	65	8.8%	58	9.3%	7
個別の生徒指導、進路指導、カウンセリング	5	0.7%	5	0.8%	0
部活動・クラブ活動	9	1.2%	5	0.8%	4
学年・学級経営（学活、連絡帳、学級通信等）	29	3.9%	21	3.4%	8
学校経営、校務分掌業務等	26	3.5%	20	3.2%	6
会議、打ち合わせ	34	4.6%	26	4.2%	8
事務	20	2.7%	15	2.4%	5
研修	27	3.7%	26	4.2%	1
保護者・地域対応	9	1.2%	6	1.0%	3
その他	12	1.6%	10	1.6%	2
合計	735	100.0%	624	100.0%	111

出所) 中央教育審議会の事務局資料 (2017年10月20日) を加工・編集のうえ作成

# 東京都調査 小学校教諭

■ 週当たりの在校時間が60時間以上    □ 週当たりの在校時間が60時間未満



全国教頭会の調査(2017年6月、7月)  
(中教審部会2018年5月18日にて報告、意見交換)

- 1日の勤務時間が12時間を超えている  
(≡過労死ラインを超えている)副校長・教頭は  
小学校約**78%**、中学校約**84%**
- 副校長・教頭の有給休暇の取得状況は、  
**1日以上5日未満が最も多く**  
小学校52%、中学校60%
- 副校長・教頭は**人材育成**に  
時間をかけられていない。  
⇒学級経営や授業につまずく  
教師を立て直せない  
⇒多忙の**悪循環**に

## もう一つの課題



☞授業で勝負できる人材育成を  
現状ではできない

# 横浜市で民間人校長をしていた平川理恵さん(現・広島県教育長)の実践

## おジャマします。授業拝見。お仕事拝見。

へんな例えかもしれませんが、学校の主力商品は「授業」だと思います。また学校は、先生だけでなく、様々な方々に支えられています。「チーム中西中」をご紹介します！

### 国語科・江間和樹先生

1年生の国語の時間におジャマしました。中坊徹次さんという作者の『幻の魚は生きていた』という説明文を学んでいて、この日の授業は「筆者の考えを結論からまとめよう」が「めあて」でした。実際に生徒たちが要約を黒板に書き、必ず含まなければならない要素を確認していきます。先生の質問に対して、生徒からたくさんの手が挙がるのでびっくりしました。みんな、すごいですね！

江間先生が先生を目指したのは中学生の時。当時、横浜市内の中学校に通っていた江間少年は、大変やんちゃなクラスメートに囲まれていたそうです。学級委員だった江間少年は、「先生たち、大変だなあ」と、仲を取り持つ形だったとか。自身のご家庭の経済的なことで塾に行かず、「塾に行かなくてもだれでも等しく学習が満足にできる…教育を受ける機会が与えられるといいな。」と思い、公立中学校の先生を目指したそうです。今年の抱負は？

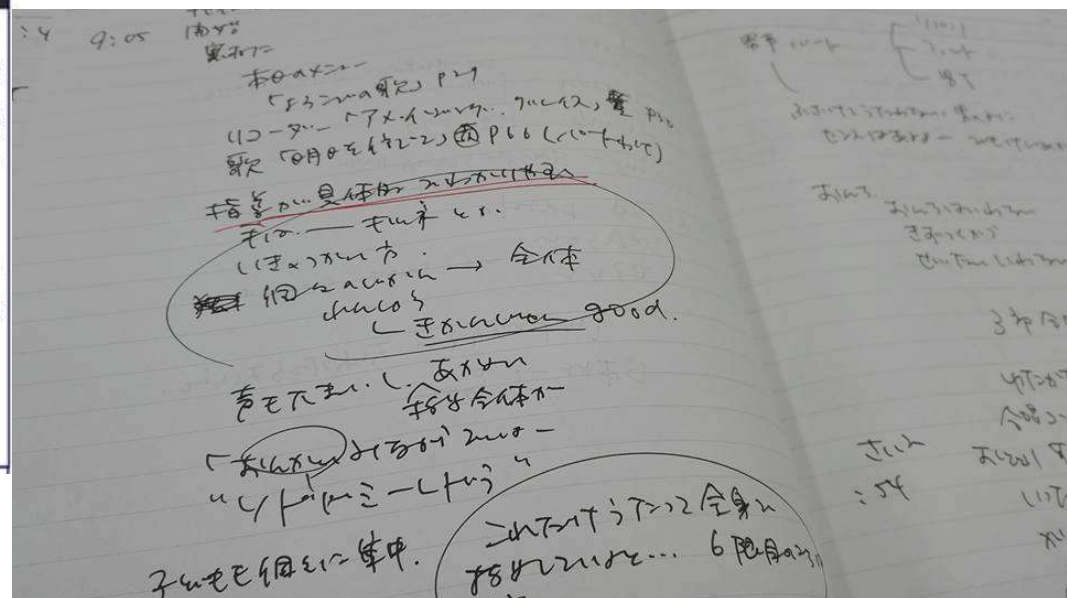
と聞くと、部活は吹奏楽の顧問ということで、1年目の今は3月の定期演奏会を成功させたいとのこと。そして、クラスの担任としては、残り3か月だけど、頑張っている生徒をお互い応援できるようなクラスにしたいそうです。

初任☆江間先生、頑張れ！

一生徒からどんどん手が挙がります。すごい！



1-6担任：江間先生↑



# 人材育成で気をつけたいこと



- ✓ 耳の痛いことも伝えているか
- ✓ しっかり伝えられるように、根拠となるSBI情報を収集せよ
- ✓ 悠長に構えてばかりいないで、リアルタイムフィードバックを

◎あなたはどのようにしていきたいですか？

学校の長時間労働の問題についてどんなことに  
取り組みたいですか？



気軽にコンタクトください  
ご意見、講演・研修依頼、読書会なども歓迎です～

妹尾 昌俊

学校マネジメントコンサルタント

senoom879@gmail.com

★Facebook Twitter 実名

★Yahoo! 個人

★ブログ: 妹尾昌俊アイデアノート

<http://senoom.hateblo.jp>

★書評サイト Books for Teachers

<http://bookfort.hatenablog.com/>

★オンラインゼミ(交流サロン)

元気な学校づくりゼミ  
(Facebookグループ)

YAHOO! ニュース JAPAN senoom879 0ポイント  
1日限りのお得な目玉商品をご案内

検索: [検索ボックス] +

あなたのコメント 購読一覧

トップ 速報 写真 映像 雑誌 個人 特集 意識調査 ランキング

新着記事一覧 国内 国際 経済 エンタメ スポーツ IT・科学 ライフ オーサー一覧

**日本中の先生たち Be Happy!**

妹尾昌俊 Masatoshi Senoo

妹尾昌俊 senoom879 official site  
教育研究家、学校業務改善アドバイザー、中教審委員  
妹尾昌俊アイデアノート～ステキな学校、地域、そして人たち

徳島県出身。野村総合研究所を経て2016年から独立し、全国各地で学校、教育委員会向けの研修・講演などを手がけている。学校業務改善アドバイザー（文科省、埼玉県、横浜市等より委嘱）、中央教育審議会「学校における働き方改革特別部会」委員、スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン作成検討会議」委員、NPO法人まちと学校のみらい理事。主な著書に『変わる学校、変わらない学校』、『思いのない学校、思いだけの学校、思いを実現する学校』、『「先生が忙しすぎる」をあきらめない』。4人の子育て中。

記事 13 オーサーコメント 2

記事一覧 1～13/13件 年月で絞り込む

**4月から学校の先生になるみなさんへ (その1: つぶされないために)**  
新人、新任の教師(先生)であっても、4月からいきなり教壇にたつし、学級担任をもつ人も多い。指導教員や校長からつぶされてしまう新人もいる。どうすればよいか。具体的な行動を提案する。  
3/31(土) 11:47

**卒業式マジックに気をつける**  
卒業式は教師にとっても、1年で最も感慨深い1日だ。その感動ゆえに、この1年はよかったと肯定してしまい、反省点が忘れられてしまう、そんな“卒業式マジック”に気をつける。  
3/18(日) 20:46